

第2章 ワークショップの実施方法

1 当日のタイムスケジュール

ワークショップは、次の流れで進行した。なお1日目と2日目のタイムスケジュールは同様である。

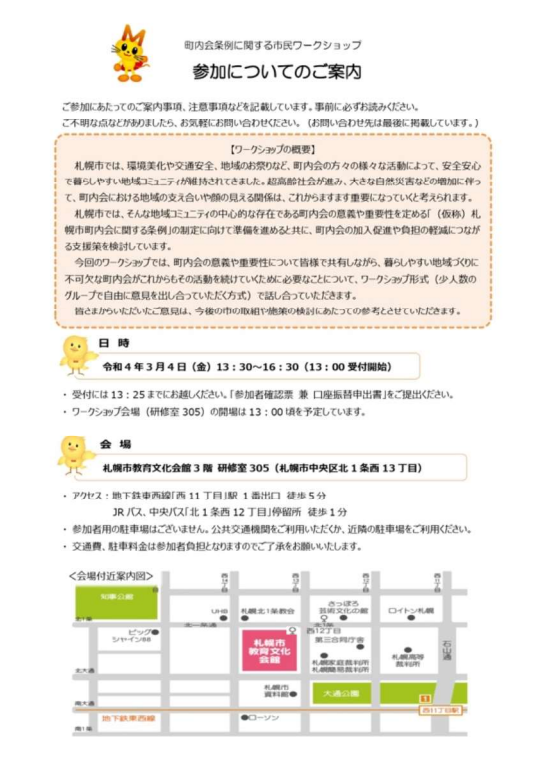
時間	内容
13:30	1. 開会、あいさつ
13:40	2. 情報提供① (10分) 「(仮称)札幌市町内会に関する条例」について ・札幌市における「(仮称)札幌市町内会に関する条例」と町内会支援策の検討の背景や基本的な考え方など
13:50	3. 情報提供② (20分) 町内会の役割と取組、札幌市が考えている町内会に関わる各主体の役割等 ・札幌市における町内会の構成や活動の目的、活動内容など
14:10	4. ワークショップ① (50分) 「暮らしを支える理想的な町内会の姿」 ①あなたの暮らしを支えてくれる理想的な町内会（地域コミュニティ）を考えましょう ②理想的な町内会（地域コミュニティ）では、4主体はどんな役割を担っているでしょう
15:00	5. 休憩 (10分)
15:10	6. 情報提供③ (10分) 町内会（組織）が中核となり、4者の連携で地域課題を解決している事例 ・町内会組織が中心となって、地域住民、事業者、行政と連携しながら地域の課題解決を行っている事例を紹介
15:20	7. ワークショップ② (40分) 「モデルケース町内会から町内会の課題解決のために4主体ができることを考える」
16:00	8. 各グループから発表
16:20	9. まとめ
16:30	10. 閉会のあいさつ、アンケート記入



2 ワークショップにあたって

参加者が積極的に参加できるよう、「当日の案内」を事前に郵送し、参加に当たっての基本的なルールと情報提供などについて周知を図った。

■当日の案内（3月4日参加者に送付したもの）



町内会条例に関する市民ワークショップ
参加についてのご案内

ご参加にあたってのご案内事項、注意事項などを記載しています。事前に必ずお読みください。
ご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。（お問い合わせ先は最後に掲載しています。）

【ワークショップの概要】
札幌市では、環境美化や交通安全、地域お祭りなど、町内会の方々の様々な活動によって、安全安心で暮らしやすい地域コミュニティが維持されてきました。超高齢社会が進み、大きな自然災害などの増加に伴って、町内会における地域の支え合いや絆の見える関係は、これからますます重要になっていくと考えられます。札幌市では、そんな地域コミュニティの中心的存在である町内会の意義や重要性を定める（仮称）札幌市町内会に関する条例の制定に向けて準備を進めると共に、町内会の加入促進や負担の軽減につながる支援策を検討しています。

今回のワークショップでは、町内会の意義や重要性について皆様で共有しながら、暮らしやすい地域づくりに不可欠な町内会がこれからもその活動を続けていくために必要なことについて、ワークショップ形式（少人数のグループで自由に意見を出し合っていく方式）で話し合っていく予定です。
皆さまの貴重なご意見は、今後の市の取組や施策の検討にあたっての参考とさせていただきます。


日時
令和4年3月4日（金）13:30～16:30（13:00受付開始）

- 受付には13:25までにお越しください。「参加者確認票 兼 口座振替申出書」をご提出ください。
- ワークショップ会場（研修室305）の開場は13:00頃を予定しています。

会場
札幌市教育文化会館3階 研修室305（札幌市中央区北1条西13丁目）

- アクセス：地下鉄東西線「西11丁目」駅1番出口 徒歩5分
JRバス、中央バス「北1条西12丁目」停留所 徒歩1分
- 参加者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。近隣の駐車場をご利用ください。
- 交通費、駐車料金は参加者負担となりますのでご了承ください。

会場付近案内図



当日ご持参・ご提出いただくもの（事前の記載・捺印が必要）
「参加者確認票 兼 口座振替申出書」…この郵便封筒に入っています。

- 参加報酬の振込先口座について、「口座振替申出書」欄の必要事項をご記載とご捺印をお願いします。
- ご記載にあたっては、「口座振替申出書」欄の注意事項（※1～5）をよくご確認ください。

参加報酬について
全時間参加された方に、ワークショップ終了後に、参加報酬を口座振込でお支払いいたします。

- 参加報酬は3,000円で、源泉徴収はございません。ワークショップ終了後、1か月程度での入金となります。
- 事前・当日のお支払いや、口座振込以外のお支払いはいたしません。
- 「参加者確認票 兼 口座振替申出書」を当日お忘れになった場合や、記載に誤りや漏れなどの不備がある場合は、振込が大幅に遅れることがあります。記載内容を今一度よく確認の上、当日忘れずにご持参ください。

参加できなかった場合
万一、参加できなかった場合は、必ずご連絡をお願いします。（連絡先は最後に掲載）

- 特段のご事情がない限り、ご出席くださいませうとお願ひいたします。
- やむを得ず参加できなかった場合は、できるだけ早めにご連絡くださいませうとお願ひいたします。

当日、交通事情などにより遅れる場合
当日遅れる場合も、可能な限りご連絡をお願いします。（連絡先は最後に掲載）

- 天候によっては移動に時間がかかることも考えられます。余裕をもってお出かけください。
- 会場への到着が遅れる場合は、可能な限りご連絡をお願いします。ご連絡がなく、開始時刻から相当時間を経過した場合は、ご欠席と判断することがございます。

新型コロナウイルス感染症対策について
新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者の皆様は以下の事項をお守りください。

- 参加当日の朝は、検温等により体調をご確認ください。体調不良や発熱等がある場合は参加いたしませんので、下記のワークショップ当日連絡先までご連絡ください。
- マスクのご持参と着用。
- 入室時の手指のアルコール消毒。
- 受付時の検温。
- ※ 熱がある方（検温にて37.5℃以上の体温が測定された方等）、咳やくしゃみが出る方、体調不良の方は退出いただき、不参加扱いさせていただきます（この場合、参加報酬はお支払いできません。ご了承ください）。
- ※ 上記以外についても、主催・運営スタッフの指示をお守りください。指示をお守りいただけない場合は退出いただき、不参加扱いさせていただきます（この場合、参加報酬はお支払いできません。ご了承ください）。

ご参加の皆様やご家族、主催・運営スタッフの健康・命を守るためのお願ひです。ご不便をおかけしますが、何卒ご了承くださいませようとお願ひいたします。

その他

- 敷地内は全館禁煙ですので、敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- ワークショップ中は、携帯電話の電源をお切りください。マナーモードに設定してください。
- 本市のホームページに掲載するため、写真を撮影いたします。また、ワークショップは公開となりますので、報道機関や見学者が入る可能性があります。本市や報道機関が撮影する写真や映像などに映り込む可能性がありますので、ご了承ください。

ご連絡先・お問い合わせ先

平日のご連絡・お問い合わせ先
011-211-2253（札幌市役所 市民自治推進課）
ご連絡可能な時間帯 8:45～12:15 または 13:00～17:15
※ 時間外には応答できない可能性があります。また、市役所閉庁日（土曜・日曜・祝日）は応答できませんので、あらかじめご了承ください。

ワークショップ当日（3月4日）のご連絡・お問い合わせ先
090-4873-3561（当日の緊急連絡専用電話）
ご連絡可能な時間帯 令和4年3月4日（金）12:00～13:30
※ 上記時間帯以外には応答できませんので、あらかじめご了承ください。

3 ワークショップの概要

ワークショップは「これからの町内会のために、私たちができることについて考える」をメインテーマに設定して、2部構成で行った。

(1) グループの編成

意見交換は6グループ（1グループ5～6名程度）を作り、ワークショップ①とワークショップ②を行った。ワークショップ①の議論を受けて、ワークショップ②ではより深い内容を話し合うことができるよう、グループの再編成は行わなかった。



また、意見交換を円滑に進めるため、総合ファシリテーター1名と各テーブルにファシリテーターを1名ずつ計6名配置し、参加者の意見を引き出し、まとめた。

(2) ワークショップの流れ

1) 進め方の説明

総合ファシリテーターから、ワークショップの進め方について簡単に説明した。

2) ワークショップ①「暮らしを支える理想的な町内会の姿」（50分）

意見交換のポイント

- あなたの暮らしを支えてくれる理想的な町内会（地域コミュニティ）を考えましょう
- 理想的な町内会（地域コミュニティ）では、4主体（町内会組織、住民、事業者、行政）はどんな役割を担っているでしょう

3) ワークショップ②「モデルケース町内会から町内会の課題解決のために4主体ができることを考える」（40分）

意見交換のポイント

- 割り当てられた町内会のモデルケースから、具体的に4主体が役割を果たしながら、地域の課題を解決する連携の動きを考える

■モデルケース1：A町内会（世帯数200世帯・集合住宅が多く加入率が低い）

A町内会の4つの課題

- ①パートナーシップ排雪やごみステーションを未加入が利用する不公平に改善を求める声が多い
- ②活動に若い世代の参加者が少なく、高齢化が進んでいる
- ③お祭りの運営費が少なくなっており、会費の値上げも検討されている
- ④防災の取組に力を入れていきたいがノウハウがない。防災機材を置いておく場所がない。

■モデルケース2：B町内会（世帯数500世帯・子育て世代が多く町内会への参加が少ない）

B町内会の4つの課題

- ①子育て世代や現役世代が増えているが、活動に参加してもらえない。
- ②LINEやZoomなどを活用した町内会運営をしている町内会があると聞いたが、詳しい人がいないため難しい。
- ③昔から防災に力を入れており、地区防災計画も作っているが、若い世代へ周知できていないと感じる。
- ④安全な通学路のためにパートナーシップ排雪や私設街路灯の設置にも取組んでいるが、費用や人材の面で、町内会の負担が大きい。

■モデルケース3：C町内会（世帯数150世帯・戸建ての多い住宅街）

C町内会の4つの課題

- ①山が近いため、災害時の土砂災害が心配されている。高齢者が多いため、日中に災害があったときの避難対応が課題である。
- ②役員が高齢化し、担い手もいないため兼務により活動している。担い手がない。
- ③行政から町内会への依頼事項が多く、手が回らない。
- ④会館が老朽化により使えなくなる可能性があり、地域の活動拠点の確保が不安である。また、防災機材を置く場所がない。

■モデルケース4：D町内会（世帯数700世帯・集合住宅と戸建て住宅が半分ずつ、企業や大学が立地）

D町内会の4つの課題

- ①学生が多く住んでおり、気軽に手伝いができるようにしたいが、どのような受入体制が必要かわからない
- ②集合住宅の町内会加入率が低く、入居者への声かけや会費徴収が難しい。
- ③コロナ禍でオンラインツールを用いたコミュニケーションの必要性を感じているが、どのように導入すれば良いかわからない。
- ④ごみステーションの利用のルールやマナーが浸透していない。空き地が少ないためごみステーションの設置場所がなく、個人宅の前だと断られてしまう。

5) グループごとの発表

テーブルファシリテーターがグループ内の意見をまとめ、発表を行った。



6) まとめ

総合ファシリテーターが、全グループの発表内容から意見、傾向等をまとめ、確認した。

